

「情報公開文書」

研究課題名：音声障害患者にみられる胃酸逆流・不眠・精神症状の関連性
—FSSG・AIS・QIDS-SR・HADS を用いて—

倫理審査担当：東京赤坂地区倫理審査委員会

承認日：西暦 2024 年 2 月 19 日 承認番号：23-Ig-176

1. 研究の対象

2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に国際医療福祉大学東京ボイスセンターにて初診時に音声評価と自記式評価尺度の両方を実施した成人の音声障害患者のうち、声帯炎、声帯ポリープ、声帯結節、声帯萎縮、声帯麻痺、過緊張性発声障害、内転型痙攣性発声障害、心因性発声障害の疾患に該当する方。

2. 研究目的・方法

【研究目的】

音声障害は以前から、胃酸逆流・不眠・精神症状と関連があることが指摘されており、これら関連症状同士も相互に関係があるとする報告も様々な領域において散見されます。各関連症状をスクリーニングできる自記式評価尺度の日本語版の有用性は示されていますが、本邦では音声障害患者にこれら評価尺度を用いて検討した報告は非常に少なく、海外でも相互関係にある他の関連症状を含めて疾患別に比較検討した報告はありません。本研究では、自記式評価尺度を用いて、音声障害患者にみられる胃酸逆流・不眠・精神症状について相互関係の視点から比較検討することを目的としています。

【研究期間】

倫理審査承認日～2025 年 3 月末日

【研究方法】

音声障害患者にみられる胃酸逆流・不眠・精神症状の関連性について調べるため、音声障害患者の初診時の自記式評価尺度の点数や音声評価の結果、患者背景などすべて日常の診療の範囲内で取得しているデータを診療録から抽出し、疾患別に分類して比較検討をおこないます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者 ID、疾患名、年齢、性別、病歴期間、職業、胃酸逆流・不眠・精神症状の治療や内服の有無、嚙声度、VHI（Voice Handicap Index）、FSSG（Frequency Scale for the Symptoms of GERD）、AIS（アテネ不眠尺度）、QIDS-SR（自己記入式簡易抑うつ尺度）、HADS（Hospital Anxiety and Depression Scale） 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-10-16

電話：03-3402-3151

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 言語聴覚分野 修士課程
医療法人財団 順和会

山王病院 リハビリテーションセンター

山王メディカルセンター 国際医療福祉大学東京ボイスセンター
言語聴覚士 栗原 みゆき

研究責任者：

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保険医療学専攻 言語聴覚分野
教授・分野責任者 倉智 雅子